



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 I N E S T株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3390 URL http://www.u-s-systems.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊奈 聰
 問合せ先責任者 (役職名)社長室室長 (氏名)若林 司 (TEL)03(6892)3864
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,102	49.1	151	—	150	—	144	—
28年3月期第1四半期	739	△27.5	△92	—	△114	—	△139	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 144百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △139百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.98	—
28年3月期第1四半期	△2.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	1,500	740	48.0	14.83
28年3月期	1,724	590	33.4	11.85

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 720百万円 28年3月期 575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期の配当につきましては、未定であります。配当については、決定次第速やかにお知らせいたします。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	10.3	△180	—	△182	—	△190	—	△3.91
通期	3,800	△0.8	△350	—	△355	—	△370	—	△7.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)― 、除外1社(社名)メディカモバイル株式会社

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	48,591,907株	28年3月期	48,591,907株
29年3月期1Q	66株	28年3月期	66株
29年3月期1Q	48,591,841株	28年3月期1Q	48,591,841株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

<業績の状況>

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境は改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続いております。一方、中国を始めとするアジア諸国の景気の下振れにより、国内景気を下押しするリスクがあり、今後の国内経済への影響が懸念されております。

当社グループを取り巻く事業環境では、引き続きスマートフォン・タブレット端末の普及拡大が進んでおり、今までIT投資が少なかった中小企業でも、スマートデバイスを活用することによって、大企業と同等の情報システムを利用することが可能になるなど、個人・法人ともにモバイルの情報通信端末の活用は広がっております。また、情報通信事業者による新サービスの提供開始や、仮想移動体通信事業者(MVNO)の参入など、市場環境はさらに活発になっていくことが期待されています。

このような事業環境のもと、当社グループは、将来に向けたさらなる収益力向上を目指し、システム事業基盤の構築や、サービスの拡充を行いながら、顧客ニーズにお応えする総合的なソリューション提案を行える体制を構築してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,102百万円(前年同期比49.1%増)となり、営業利益151百万円(前年同期は営業損失92百万円)、経常利益150百万円(前年同期は経常損失114百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益144百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① システム事業

システム事業セグメントは、店舗運営を行う法人事業者を対象に、スマートフォン・タブレット端末を利用したPOSシステムの販売、予約サービスの展開など、店舗運営をサポートするソリューション提案を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、将来に向けたさらなる収益力向上を目指し、システム事業基盤の構築や、サービスの拡充を行いながら、顧客満足度を向上させるべく、総合的なソリューション提案を行える体制を構築してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は204百万円(前年同期比13.7%減)、セグメント利益は36百万円(前年同期はセグメント損失58百万円)となりました。

② 直販事業

直販事業セグメントは、主にスマートフォンを中心とした携帯電話端末や周辺機器・モバイルデータ通信端末の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、従来より取り組んできた、事業規模に見合った人員配置、従業員一人当たりの生産性の向上、諸経費の削減等が奏功し、販売が堅調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は898百万円(前年同期比78.8%増)、セグメント利益は142百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産、負債及び純資産の状況)

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	1,724	1,500	△223
負債	1,133	760	△372
純資産	590	740	149

総資産は、主に売掛金の減少により、前連結会計年度末に比べて223百万円減少し1,500百万円となりました。

負債は、主に買掛金及び未払金の減少により、前連結会計年度末に比べて372百万円減少し760百万円となりました。

純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益144百万円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べて149百万円増加し740百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

平成29年度3月期の通期業績予想については、平成28年7月20日に公表いたしましたアスカティースリー株式会社の株式の一部を譲渡することにより発生する見込みである特別利益を加味した上で、平成28年5月19日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、メディカモバイル株式会社は、清算終了したことにより連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、従来、定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

これは、当連結会計年度において、今後の収益構造及び有形固定資産の使用状況を再検討した結果、使用可能期間にわたる均等償却により費用配分を行うことが、当社グループの経済的実態をより適切に反映できると判断したためであります。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	755	918
売掛金	668	308
たな卸資産	72	83
その他	101	63
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	1,591	1,370
固定資産		
有形固定資産	20	19
無形固定資産		
のれん	16	13
ソフトウェア	33	30
その他	1	1
無形固定資産合計	51	46
投資その他の資産		
投資有価証券	11	11
その他	70	74
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	61	64
固定資産合計	132	130
資産合計	1,724	1,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	320	148
短期借入金	50	50
1年内返済予定の長期借入金	91	173
未払金	350	253
未払法人税等	23	5
賞与引当金	37	6
役員賞与引当金	6	2
その他	79	55
流動負債合計	959	694
固定負債		
長期借入金	161	56
その他	13	9
固定負債合計	174	66
負債合計	1,133	760
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	757	757
利益剰余金	△281	△136
自己株式	△0	△0
株主資本合計	575	720
新株予約権	12	17
非支配株主持分	2	2
純資産合計	590	740
負債純資産合計	1,724	1,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	739	1,102
売上原価	483	654
売上総利益	256	448
販売費及び一般管理費	348	296
営業利益又は営業損失(△)	△92	151
営業外収益		
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
支払利息	3	1
その他	18	0
営業外費用合計	22	1
経常利益又は経常損失(△)	△114	150
特別損失		
店舗閉鎖損失	23	—
特別損失合計	23	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△138	150
法人税、住民税及び事業税	1	5
法人税等合計	1	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139	144
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	144

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139	144
四半期包括利益	△139	144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139	144
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム事業	直販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	237	502	739	—	739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	237	502	739	△0	739
セグメント損失(△)	△58	△6	△64	△28	△92

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△28百万円は、各セグメントに配分していない全社費用△28百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム事業	直販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	204	897	1,102	—	1,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	204	898	1,102	△0	1,102
セグメント利益	36	142	179	△27	151

(注) 1 セグメント利益の調整額△27百万円は、各セグメントに配分していない全社費用△27百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

当社は、平成28年7月20日開催の取締役会において連結子会社であるアスカティースリー株式会社の株式の一部を株式会社7ホールディングスに譲渡することを決議し、平成28年7月31日に実行いたしました。

1. 取引の目的

当社グループはシステム事業の一つとして、アスカティースリー株式会社において外食産業向けセルフオーダーシステムの販売・運営事業を行ってまいりましたが、平成27年3月期および平成28年3月期は販売不振により、赤字となっております。

また当社は、平成28年5月19日付プレスリリース「新たな事業の開始に関するお知らせ」に記載のとおり、中長期に亘り業績を拡大するためには成長事業を柱とした事業領域の拡大が必要不可欠であり、企業価値向上のために、経営資源を成長事業に集中していきたいと考えております。

このような状況下で、アスカティースリー株式会社については経営を第三者に委ねることが当社及び同社にとって有効であると判断し、株式の一部を株式会社7ホールディングスに24百万円で譲渡いたしました。なお、本株式譲渡により、概算で62百万円の特別利益が発生する見込みであります。

この結果、当社のアスカティースリー株式会社の株式保有比率は19%となりました。株式会社7ホールディングスとともに、今後も協業し、相互の利益発展を図ってまいります。

2. 売却する相手先の名称

株式会社7ホールディングス

3. 売却の時期

平成28年7月31日

4. 当該子会社等の概要及び当社グループとの取引内容

当該子会社等の名称	アスカティースリー株式会社
事業内容	外食産業向けセルフオーダーシステム(e-menu)の企画・開発・販売・運営等
取引内容	重要な取引はありません。

5. 当該子会社等の最近事業年度の経営成績及び財政状況

平成28年3月期

売上高	766百万円
営業損失(△)	△26百万円
経常損失(△)	△34百万円
当期純損失(△)	△101百万円
総資産	329百万円
純資産	△52百万円